

# プロジェクトチーム及び県の来年度の取組について

## 1. プロジェクトチームの来年度の取組について

### (1) 事故分析ワーキンググループ（仮称）の設置

#### ア 設置趣旨

県内の事故分析に基づき、交通事故の抑止、事故数減少に資する自動車安全技術の開発支援、普及活動について検討する。

#### イ 検討事項

- ・交通事故状況の多角的な分析
- ・開発支援、普及が必要な自動車安全技術の検討
- ・自動車安全技術による交通事故死者数などの削減目標の検討

#### ウ 構成メンバー

P Tメンバーの関係者

### (2) 平成26年度のスケジュール

平成26年度

4月



○新WGの設置・取組、プローブWGの取組

9月

★第4回P T：取組の経過報告等



○新WGの取組、プローブWGの取組など

3月

★第5回P T：本年度の取組状況の報告及び平成27年度の  
取組の検討

## 2. 県の来年度の取組について

### 県の自動車安全技術 P T 関連予算

#### ○産業労働部

##### 自動車安全技術推進事業費 (5,400 千円)

- ・自動車安全技術に係る中堅・中小企業の展示会出展への支援
- ・安全技術搭載自動車に関する講習会及び体験試乗会の実施
- ・自動車安全技術分野への中小企業の参入を促すための研究会の開催

##### 新あいち創造研究開発補助金 (500,000 千円)

- ・企業等が行う、研究開発・実証実験を支援

#### ○地域振興部

##### I T S (高度道路交通システム) 推進費 (2,000 千円)

- ・交通安全のための I T S 実証実験の実施
- ・各種展示会への出展等による I T S の普及啓発

#### ○建設部

##### 交通安全対策費等 (一部) (2,403,000 千円)

- ・プローブ情報活用WGで抽出された危険が予想される箇所の対策

(参考) 国の自動車安全技術関連予算について

#### ○総務省

##### 高度道路交通システム (I T S) の推進 (2.1 億円)

【主な経費】次世代 I T S の確立に向けた通信技術の実証

#### ○経済産業省

##### 次世代高度運転支援システム研究開発・実証プロジェクト (8.0 億円)

交通事故の減少を目標に、高度な安全運転支援に必要なセンシング技術の開発等を実施

#### ○国土交通省 (自動車局)

- ・先進安全自動車 (A S V) プロジェクトの推進 (0.9 億円)

ドライバーの安全運転を支援する A S V の開発・実用化・普及を促進。

- ・自動車運送事業の安全総合対策事業 (10 億円)

衝突被害軽減ブレーキ等の導入支援、社内安全教育の実施、過労運転防止のための先進的な取組を行う自動車運送事業者への補助金の交付 など。

#### ○国土交通省 (道路局)

##### I T S 技術を活用した円滑、安全・安心な道路交通の実現への取組 (1 億円)

プローブ情報の活用による、渋滞対策、交通安全対策の実施 など。